

## ■ ■ ■ 各種研修会 ■ ■ ■

### 平成20年度第48回通常総会開催

～秋田県土地改良事業団体職員会～

平成20年6月27日(金)、秋田市のシャインプラザ平安閣を会場に、会員112団体368名のうち、359名(委任出席240名)の出席を得て、秋田県土地改良事業団体職員会第48回通常総会が開催された。

はじめに、鈴木英弘副会長(秋田市孫左衛門堰土地改良区事務局長)より挨拶があり、続いて長期に渡り土地改良区運営及び職員会の発展に寄与のあった9名に対して、功労者表彰が行われた。

表彰終了後、来賓である秋田県農林水産部農地整備課の村上克朗課長、秋田県土地改良事業団体連合会(水土里ネット秋田)の三浦貞一専務理事からの祝辞を頂き総会議事へと移った。

山内幸雄議長(北秋田市鷹巣土地改良区事務局長)の進行により、平成19年度事業報告・会計収支決算及び平成20年度事業計画・会計収支予算等の議案について、それぞれスムーズに承認・可決された。また、任期満了による役員を選任も行われ、新会長には鈴木英弘副会長が満場一致で選任された。

土地改良関係職員の減少等により様々な影響も懸念されるが、これからも県内土地改良区職員の様々な活動への一助となる運営継続を期待したい。

なお、選任された新役員及び功労者表彰の受賞者は次のとおり。

#### ■職員会新役員

(任期：平成20年6月27日～平成23年6月総会)

- ・会長 鈴木英弘(秋田市孫左衛門堰土地改良区)
- ・副会長 堀 芳直(内越土地改良区)  
北林正志(田代町土地改良区)  
武田孝雄(秋田県仙北平野土地改良区)

#### ■功労者表彰受賞者

◇佐々木拓也(大館市南土地改良区)、塚本陽子(山本郡藤里町藤琴土地改良区)、三戸悟(男鹿市払戸土地改良区)、堀井あけみ(仁井田堰土地改良区)、畠山智子(潟上市天王土地改良区)、藤井孝喜(秋田県七滝土地改良区)、小野充(秋田県雄物川筋土地改良区)、高橋勝子(秋田県南旭川土地改良区)、佐藤達也(秋田県雄物川筋土地改良区)

功労者表彰受賞おめでとうございます。



### 秋田県農地集団化推進協議会

第48回通常総会を開催

6月27日(金)、秋田ビューホテル(秋田市)において秋田県農地集団化推進協議会第48回通常総会が、会員及び関係者ら約80名が出席して開催された。

総会では、大高貢会長(秋田県能代地区土地改良区理事長)が「昨年からはじめた水田経営安定対策により、集落営農組織を含めた担い手が主体となる農業構造改革が加速化され、認定農業者や集落営農への農地の集積、集団化を進めることが必要不可欠になっている。今後も本協議会として関係機関との緊密な連携のもとに農用地等集団化事業の一層の推進を図って行きたい」と挨拶。引き続き平成20年度農地集団化事業優良地区及び功労者表彰として、9地区と2個人の表彰が行われた。



その後、県農林水産部農地整備課の村上克朗課長、本会の三浦貞一専務理事などの来賓祝辞に続き、議事に入り、平成19年度事業報告及び収支決算の承認、協議会財政調整基金について、平成20年度事業計画及び収支予算案などについて審議を行い、いずれも原案どおり可決承認された。なお、今年度の受賞は次のとおり。

【優良地区表彰】◇鯉川地区(琴丘土地改良区)◇中渡地区(峰浜土地改良区)◇母体地区(能代市東土地改良区)◇大台野地区(秋田県能代地区土地改良区)◇井川東部地区(井川町土地改良区)◇種沢地区(雄和中央土地改良区)◇及水地区(大仙市)◇土崎・小荒川地区(美郷町千畑土地改良区)◇境町北部地区(秋田県南旭川水系土地改良区)

【功労者表彰】◇仲村力夫(大仙市大曲土地改良区理事長)◇佐藤清春(おものがわ土地改良区理事長)



## 問題解決に向けた知識の習得！

平成20年度北海道・東北ブロック土地改良換地関係訴訟検討会

7月31日(木)と8月1日(金)の2日間、秋田市などを会場に平成20年度北海道・東北ブロック土地改良関係訴訟検討会が開催され、北海道及び東北各県から農政局や法務局、道県並びに水土里ネット(土地連)の担当者など関係者ら約80名が出席した。

検討会では、本会の三浦専務理事が「農林水産省では農地利用集積や耕作放棄地対策などの農地対策を今年度の重点施策として位置づけているが、昨今の換地処分や農地集積においては農村地域の社会構造の多様化に伴い、換地をめぐる異議・紛争や訴訟に発展するケースも多く、問題解決に向けては高度な専門知識と適切な判断が要求される。今回の検討会は訴訟法手続き関係の講演に引き続き、テーマを絞って各県の皆さんから協議していただくことにしている。これからの換地業務に適切に反映させるべく有



意義な検討会にしていただきたい」と挨拶。

その後、開催県として秋田県農林水産部の川原次長が、来賓として仙台法務局の伊良原訟務部長、東北農政局の中野農村計画部長がそれぞれ挨拶を述べた。

引き続き、検討会に入り、仙台法務局訟務部長の山崎敬二検事を講師に「行政事件訴訟法について」の基調講演が行われた。また、協議事項として「創設非農用地取得の同意の取扱いについて」、「換地処分登記における所有権の現地表示について」をテーマに協議が行われ、各県からの問題提起から、各道県及び農林水産省、法務局がそれぞれ立場で意見を述べるなどテーマに沿った形で参加者が活発な意見交換を行った。

2日目は現地研修として、大仙市協和の経営体育成基盤整備事業「小種地区」の視察が行われ、農地集積及び転作地の団地化・ブロックローテーション化による複合経営を目指すとして平成17年に設立した「農事組合法人たねっこ」の関係施設などを見学した。



## 事業終え現地で完成式 ～関係者が「石碑除幕」を行い喜び合う～

秋田県が大館市川口地区で整備を進めていた経営体育成整備(高度利用型)事業の完成式が8月1日(金)午後から現地で行われ、関係者が神事や竣工記念碑(碑題「業成して恵潤う肥沃の地」・・・大館市長 小畑 元氏)の除幕式で6年越しの事業完了を喜び合った。

同地区は昭和42～45年にかけて構造改善事業で水田が30アール区画に整備されていたが、地区内水路は殆どがコンクリート装工されているものの、老朽化による水路側壁の倒壊や法面崩壊などによって通水能力の低下をきたしていた。また排水路は水路底が高く乾田化及び耕地の汎用化の阻害となっていた。さらに、農道は農地より高過ぎるため、効率的な農作業の支障となっていた。

このため、平成14年度に国の「経営体育成基盤整備事業」に着手し、用排水路や農道の整備を行

い、汎用化及び維持管理費の低減、さらには経営体育成を図りながら田畑複合経営を確立して、農業経営の安定を達成するため、平成14年度から6カ年で整備を進めていた。受益面積は82.0ヘクタールで、受益者は144戸。総事業費は3億6,600万円。

完成式には関係者約50人が出席して現地で行われ、施設管理者である水土里ネット下川沿(大館市下川沿土地改良区)の長崎祥悦郎理事長はじめ、県北秋田振興局の藤原正農林部長、小畑元大館市長、虻川久崇市議会議員、設計・施工者代表として本会の戸沢正巳北事務所長(会長代理)らが石碑の除幕を行い、完成を喜び合った。

除幕式終了後は、場所を市立下川沿公民館に移動して、「竣工祝賀会」を開催し、虻川哲一川口横岩水利組合長の「万歳三唱」により事業の完成式を終了した。



## 平成21年度職員採用試験受験案内

秋田県土地改良事業団体連合会

- 第1次試験 平成20年10月24日(金)  
 ■願書締切日 平成20年10月10日(金)

- 試験会場 秋田県土地改良会館  
 ■問い合わせ・資料請求・受験申込み  
 秋田県土地改良事業団体連合会  
 総務企画部総務班  
 〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37(秋田県土地改良会館内)  
 TEL.018-888-2750 FAX.018-888-2834  
 e-mail:soumui@akidoren.com

### 1. 試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験区分		採用予定人員	職務内容
高校卒	農業土木(一般土木含む)又は農業工学系の科目を履修した者	1名	農業農村整備事業の推進に資するための専門的技術業務に従事する
大学卒		1名	

### 2. 受験資格

#### (1)高校卒

平成21年3月までに高校を卒業又は卒業見込みの者で、昭和63年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた者。

#### (2)大学卒

平成21年3月までに大学を卒業又は卒業見込みの者で、昭和60年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた者。

### 3. 試験の日時及び場所

#### (1)第1次試験

- ア. 日時 平成20年10月24日(金)午前9時30分から  
 ・教養試験 9時30分～11時00分  
 ・専門試験 11時15分～12時15分  
 ・論文試験 13時00分～14時00分

イ. 場所 秋田県土地改良会館(秋田市高陽幸町3-37)

#### (2)第2次試験

ア. 日時 平成20年11月中旬

イ. 場所 秋田市

※第2次試験の詳細については、第1次試験合格通知の際にお知らせします。

### 4. 試験の種目及び方法・内容

#### [第一次試験]

- ・教養試験 一般的知識及び知能についての筆記試験
- ・専門試験 農業土木に必要な専門的知識についての筆記試験
- ・論文試験 文章による表現力、理解力、文章構成力等についての試験  
課題1門について作文

#### [第二次試験]

- ・口述試験 人物についての個別面接による試験
- ・身体検査 健康診断書の提出を求め、職務遂行に必要な健康を有するかどうかの検査

#### 【教養・専門試験出題分野】

高校・大学で試験内容は異なる

試験区分	問題形式	出題形式
教養試験	択一式 20問 90分	政治、経済、論理・社会、世界史、日本史、地理、国語、文学・芸術、数学、物理、化学、生物、地学、文章理解(現代文・英語)、判断推理、数的推理、資料解釈
専門試験	農業土木 択一式 10問 90分	応用力学、水理、土質、測量、鉄筋コンクリート

### 5. 資格調査

受験資格の有無、申込書記載事項の真否等について。

### 6. 合格発表

- ・第1次試験合格発表 平成20年10月下旬
- ・最終合格発表 平成20年11月下旬  
合格者には書面で通知します

### 7. 採用予定

- (1)採用は平成21年4月1日。  
 (2)申込書記載事項等に虚偽の申告があった場合には、採用されないことがある

### 8. 勤務条件

#### (1)給与

- ア. 本会職員給与規程により基本給、扶養手当、住宅手当、賞与、寒冷地手当等の諸手当がそれぞれの支給要件に応じて支給  
 イ. 年1回の昇降給は、人事考課による

#### (2)勤務時間

原則として、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで

#### (3)休暇

年間20日(採用年は12日)の年次休暇や療養休暇、結婚休暇・出産休暇などの特別休暇

## 水土里ネット秋田 内部研修(報告)

### ■施設機能診断現地研修を開催



▲研修の概要説明

本会の管理専門指導員を対象に今回、施設診断が総合的に判断できる知見と、技術を持った専門技術者の育成を図るため、土地連で装備している機器を使った診断技術向上の現地研修を内部職員（コンクリート診断士、電気主任技術者等）を講師に開催しました。（7月8日）

新城川土地改良区（秋田市）のご協力を得て、槻木頭首工においてコンクリート構造物の調査ポイントについて講義された後にはシュミットハンマーでの圧縮試験や鉄筋のかぶり厚を探查する電磁誘導試験、鉄筋腐食・中性化試験（はつり法）を体験した他、ゲート設備に関しては実際に超音波板厚計による鋼材の板厚測定、塗装膜厚計による塗膜厚の測定などを行った。

次に、ポンプ設備について「堀内揚水機場」に移動し、ポンプ、モーターの診断ポイントについては「音、振動、温度等の異常」がないか点検する事が重要で、劣化状態、漏洩等についても点検するものとし、異常がある場合は測定機器等を使

い判断するようになるとの説明をうけた。

聴診棒を使つての異音チェックが有効であることも体験した他、振動計、温度測定器などの機器を初めて見る人もいるなど、有意義な研修で、今後の定期診断や要請診断等に成果が期待されるものとなった。



▲モーターの点検ポイント

### ■施設の長寿命化にむけて

#### 「農業水利施設のデータベース化に向けた土地連の取り組み」

##### 1. 農業水利施設台帳の整備

ストックマネジメント事業の機能保全計画策定を見据えて「農業水利施設台帳の整備」情報収集に努め、定期診断、要請診断時に現在ある施設台帳を順次修正し整備していく考えであります。

（主な事項は下記）

・施設の諸元、診断結果、事故・補修履歴、前